

**根鄉公民館**

# 根郷地区の概要

---

根郷地区は従来農村地帯であったが、北部にＪＲ佐倉駅、南部に国道５１号線と交通の便や地理的条件に恵まれて、昭和３５年を機とした高度経済成長の波にのった開発がおこなわれ、その一部が工業地域に指定されて昭和４０年頃から大小の工場が次々に進出してきた。また、昭和４７年に東関東自動車道が開通し、一層都市化に拍車をかけた。以前の山林、田畑はつぎつぎと宅地造成され、新しい家々が建ち並び住宅地になり、新しい住民が多くなってきた。

地域全体をみた場合、農村地域と住宅地域、さらにはＪＲ佐倉駅周辺、あるいは県道沿いの商店、工業団地といった地域構成となっている。根郷地区の面積は市全体の１６．９％に当たる１７４６ha、人口は１４．２％に当たる２４，９９３人であるが、今後も人口の増加が見込まれている。近年の宅地開発等によって、藤治台・大作・大崎台・山王・春路・表町等の新しい大字地名が加わり、新しい麓の列なる美しい町並が広がっている。しかし、南部地域を中心に自然豊かな山野・田畑も多く残されている。また、学校は根郷小学校、寺崎小学校、山王小学校、南部中学校、根郷中学校、県立佐倉南高等学校、千葉敬愛大学があり、学園地区としても注目されている。

## 根郷地区の概要

地区面積 １７．４６km<sup>2</sup>

（市面積１０３．６km<sup>2</sup>）

地区人口 ２４，９９３人

（市住民基本台帳人口

１７６，１６９人）

人口密度 １，４３１人／km<sup>2</sup>

（市人口密度１，７００人／km<sup>2</sup>）

平成２３年３月末現在

# 管理・運営の部

## 1. 公民館運営計画

---

### 運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として根郷地区の実態をふまえ、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるようにつとめる。

### 努力目標

より多くの人に利用してもらえる施設となるよう、施設設備の提供等に工夫をこらすとともに、利用者に好感を持たれる対応につとめる。

幅広い年齢層の幅広い要望に答える多様な事業を展開する。

地域の人材の力を地域に還元する橋渡し役となるようにつとめる。

郷土意識の高揚、社会問題への関心の喚起につとめる。

### 事業内容

#### 1. 施設・備品の提供

##### (1) 施設の提供

提供月日(曜日)

月・火・日曜日(第2・4月曜日は休館) 9:00~17:00

水・木・金・土曜日 9:00~22:00

使用の受付は原則として、2ヵ月前の月初めから予約開始

(予約開始日の午前9時から抽選。抽選後は先着順に受付。回数制限なし)

休館日 毎月第2・4月曜日・年末・年始

##### (2) 備品の提供

館内での利用に支障のない範囲で、備品・器具等の貸出しを行う。

佐倉市市民部の所管する子ども御輿、イベントテントの貸出し事務の一部及び保管を取り扱う。

#### 2. 学級・講座・講習会・見学会

参加者の対象別に家庭教育、青少年教育、成人教育、高齢者教育の各事業にわけて実施する。

#### 3. その他の事業

広報、体育・レクリエーション、図書、団体育成、情報提供、人材活用、個人学習などの事業を実施する。

## 2 . 公民館利用状況

### 月別利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用件数	286	281	310	304	256	293	295	282	261	255	280	221	3,324
利用人数	3,152	3,220	3,360	3,450	2,225	2,953	3,256	2,950	3,176	2,684	3,317	2,208	35,951
開館日数	28	29	28	29	29	28	29	28	26	25	26	29	334
使用料金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### 区分別利用状況

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
主催 事業	件数	11	21	47	27	44	12	29	26	32	27	15	16	307
	人数	163	398	697	457	218	190	380	370	768	405	241	290	4,577
団体 利用	件数	275	259	262	269	203	281	261	248	227	227	265	203	2,980
	人数	2,989	2,808	2,647	2,680	1,938	2,763	2,719	2,453	2,408	2,266	3,076	1,908	30,655
教育 機関	件数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	人数	0	0	0	221	0	0	0	0	0	0	0	0	221
行政 機関	件数	0	1	1	4	9	0	5	8	2	1	0	2	33
	人数	0	14	16	92	69	0	157	127	0	13	0	10	498

### 年度別利用状況

年度 区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
利用件数	3,266	3,320	3,285	3,219	3,324
利用人数	37,124	36,299	35,500	34,037	35,951
開館日数	333	334	333	333	334

## 事業の部

領域	事業名	内 容	対象・人数	期間・回数
家庭教育	ぼっぼちゃんくらぶ	親子で一緒に運動や絵本、手遊びなどを楽しみ、子供の様々な発達を図るとともに、親子の関係を見直す機会とした。また、家族の参加日を各コース2回を設け、家族間の交流を図った。水痘による休講のため前期は11回となった。	2歳児と保護者 20組 (20組×2コース)	前期： 5月～7月 後期： 10月～12月 各コース 12回
	親子ふれあい体操	乳幼児が体を動かすことにより体などの発達の促進を図った。遊びを通して家族の係わり方を学び、同じ子を持つ親の仲間づくりの場、情報交換の場として実施した。	幼児と保護者 30人	7月29日 1回
	家庭教育共通事業(食の大切さ)	正しい「食」の知識を身につけ、「食」の楽しさ、特に朝食の大切さ等を学んだ。	小学生以上の保護者 6人	3月7日 1回
青少年教育	親子交流	地域の特産品(夏野菜・そば粉)などを利用し、調理体験を通して親子の交流を図った。	小学生と保護者 延べ 33人	8月19日 1月8日 2回
	通学合宿	異年齢の子ども達が親元を離れ、共同生活をする事により、自主性・協調性などが高まった。また、地域住民との交流も図ることができた。	小学生 4～6年 20人	6月27日～ 30日 (3泊4日)
	体験学習・ものづくり	おもしろ科学実験隊、わくわくキッズなど体験型の事業を開催し、子供のやる気や自主性・協調性を養った。	学生延べ 127人	6月～12月 12回
	映画鑑賞会	映像教材をとおして子供たちの健全育成を図った。3月は震災のため中止となった。	幼児～小学生 78人	7月30日 1回
	地域子ども会協働事業	子どもたちが健康で知性・感性を備えた心豊かな人に育ってもらうために地域の子ども会と公民館の協働による子ども育成を行った。	幼児～小学生 71人	12月23日 1回
	佐倉っ子塾 共通講座 (環境講座)	環境意識を育む講座(印旛沼などの自然環境やその他自然体験学習をし、環境への意識をんだ。)	小学生延べ 19人	7月27日 10月2日 2回

	佐倉っ子塾 共通講座 (創造力養成講座)	地域の産業や文化などについて、体験学習をし、子どもの創造力や研究心を育む。今回のテーマは、太陽電池パネルがどのようにつくられ、利用されているかを見学し、くらしと環境について考えた。	小学生 3~6年 20組	8月17日 1回
成人教育	健康づくりの講座	散歩感覚のウォーキングやストレッチを行い、健康の保持増進を図った。また、草木や鳥など自然に触れ、家庭では感じることのできない感動を味わい、参加者同士の親睦も図った。	成人延べ 49人	10月5日 10月12日 10月19日 3回
	人権講座	聴覚障害者の人権について考えるきっかけとして手話講座を実施した。	成人 20人	1月20日 1回
	パソコン講座	初心者を対象とした各種パソコン講座を実施し、地域住民の情報活用能力の育成を行った。震災のため1講座が中止となった。	成人 82人	6月~3月 7回
	パソコン自由利用	ボランティアを配置し、パソコン初心者が自由にパソコンに触れる場を提供した。	成人 78人	4月~3月 12回
	地域づくり入門講座	消防署の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識を向上させるため、普通救命講習を計画したが、震災のため中止となった。	成人 0人	3月 1回
	体験・ものづくり講座	体験型・参加型の講座。地域住民の協力を得ながら、こんにゃく芋、大和芋などの地域の伝統的な素材を生かした料理講座を実施した。	成人 35人	12月10日 5月23日 2回
佐倉学	根郷探訪	郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び郷土愛を高め、地域を見直す機会を提供した。	成人延べ 38人	4月24日 6月12日 11月13日 3回
	佐倉学入門講座 近代の佐倉講座	近代の根郷の教育や文化などをテーマにして、様々な郷土の変遷を学んだ。	成人延べ 43人	5月22日 7月25日 2回
高齢者教育	寿大学	健康、地域、文化等幅広い分野を学びながら、レクリエーション活動などで参加者同士の交流を図った。	60歳以上 延べ 1,007人	5月~3月 (8月を除く) 10回
団体育成	根郷地区社会教育関係団体への援助	南部地区子ども会育成会連絡協議会や、根郷地区青少年育成住民会議等の事業及び活動を支援した。	該当団体	通年

	定期利用者懇談会	公民館の活動について理解を求めるとともに、利用団体からの意見、要望を聞いた。また、グループ活動の意義について理解を図った。	利用団体 76 団体	4 月 21 日 5 月 1 日  2 回
人材育成	学生ボランティア育成	地区内の中・高・大学生に主催事業への協力を呼びかけ、若年層にも地域の輪を広げた。	中・高・大学生	随時
	講師の公募	地域の人材を活用し、公民館事業を進めることをめざし、講師の一般公募を行った。	成人	随時
	ボランティアの育成	主催事業や施設的环境美化に協力してくれるボランティアの育成及び活用を行った。	成人	通年
広報活動	根郷公民館だより	公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを掲載した館報を発行した。	根郷地区各世帯・各事業所	4 月 15 日 9 月 15 日 10,900 部 × 2 回
図書事業	図書の貸出・返却	佐倉市立図書館と連携し、図書の貸出、返却の受付を行った。	幼児～成人	通年 1 人 10冊 2 週間 まで
その他	夏休み自習室	夏休みの期間中、学生等が個人学習に利用できる部屋を開放した。	小学生～成人  延べ14人	7月21日～ 8月31日  38日間
	卓球室開放	家族や友人らと気軽にスポーツ(卓球)を楽しむ場を提供した。	幼児～成人  延べ85人	4月～3月 第1日曜日  12回

# 1 . 家庭教育事業

## ぼっぼちゃんくらぶ

開設趣旨 幼児の想像力や豊かな心を育てるうえで重要な役割を果たす絵本。絵本の読み聞かせの手法や絵本の楽しさを学ぶ。工作や遊びなどを通して、親子で楽しむ機会を提供する。また、体を動かすことの楽しさや同年齢の友達とふれあうことで、幼児期の人格形成を促すことを目的とする。また、地域にかえっても話し合えるような参加者同士の仲間づくりを図り、子育てにおける親と子の関わりを考える。

### 対象・人数

前期 平成19年4月2日～19年9月30日生まれの子と保護者19組 39人(延べ410人)

後期 平成19年10月1日～20年4月1日生まれの子と保護者20組 40人(延べ414人)

### 期間・回数

前期 平成22年 5月6日(木)～ 7月8日(木) 計12回(内1回は水痘流行のため中止)

後期 平成22年10月7日(木)～12月9日(木) 計12回

午前10時から11時30分まで

### 学習目的

1. 絵本の読み聞かせを通して幼児の想像力や豊かな心を育てる。
2. 運動や遊びを通して、親子の関係、地域とのかかわり、子育てについて考える。

### 指導者

前期 おはなし会メープル (えほん)・

ニッポンランナーズ 伊藤 友香(体操)

後期 おはなし会メープル (えほん)

ニッポンランナーズ 伊藤 友香、山岸千佳、結城玲美(体操)

保育ボランティア ちゅんちゅんくらぶ 7人

### プログラム

(前期)

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者
1	5月6日(木)	お花が咲いた!	絵本の読み聞かせをし、折り紙でお花を作った。	おはなし会メープル
2	5月13日(木)	みんなでさかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙作った魚で魚釣りをした。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会メープル
3	5月16日(日)	青空の下で ～さくら庭園～	絵本の読み聞かせをし、青空の下で思いっきり走り、お父さんにロケットを作ってもらう。(水痘流行のため中止)	おはなし会メープル
4	5月20日(木)	手型をとろう	絵本の読み聞かせをし、絵具で手型をとり、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会メープル
5	5月27日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会メープル
6	6月3日(木)	むくむくお化けで遊ぼう	絵本の読み聞かせをし、牛乳パックで、不思議なお化けを作った。	おはなし会メープル



7	6月10日(木)	ボールを使って	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールで遊びました。	伊藤 友香 氏
8	6月17日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏
9	6月20日(日)	新聞紙を使って ～ホール～	新聞紙を使っていろいろな遊びをしました。	伊藤 友香 氏
10	6月24日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏
11	7月2日(金)	器具を使って	マット、平均台などにチャレンジしました。	伊藤 友香 氏
12	7月8日(木)	みんなで よーいドン	みんなでミニ運動会をしました。	伊藤 友香 氏

(後期)

回	月 日 (曜日)	テ ー マ	学 習 内 容	指 導 者
1	10月7日(木)	お花が咲いた!	絵本の読み聞かせをし、折り紙でお花を作った。	おはなし会 メープル
2	10月14日(木)	みんなで さかなつり	絵本の読み聞かせをし、折り紙で魚を作った。(色をぬる、切る、動きをつける)	おはなし会 メープル
3	10月17日(日)	青空の下で ～ホール～	絵本の読み聞かせをし、青空の下で思いっきり走った。 お父さんにロケットを作ってもらった。	おはなし会 メープル
4	10月21日(木)	手型をとろう!	絵本の読み聞かせをし、手型をとり、どのくらい大きくなったか確かめた。	おはなし会 メープル
5	10月28日(木)	電車ごっこ	絵本の読み聞かせをし、手作りのきっぷで電車ごっこをした。	おはなし会 メープル
6	11月4日(木)	むくむくお化け で遊ぼう	絵本の読み聞かせをし、牛乳パックで、不思議なお化けを作った。	おはなし会 メープル
7	11月11日(木)	ボールを使って	投げたり、ついたり、転がしたり・・・。 ボールで遊びました。	伊藤 友香 氏 山岸 千佳 氏
8	11月18日(木)	タオルを使って	タオルを使って、楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏 結城 玲美 氏
9	11月25日(木)	フープを使って	フープで楽しく体操しました。	伊藤 友香 氏 結城 玲美 氏
10	12月2日(木)	器具を使って	マット、平均台などにチャレンジしました。	伊藤 友香 氏 結城 玲美 氏
11	12月5日(日)	新聞紙を使って ～ホール～	新聞紙を使っていろいろな遊びをしました。	山岸 千佳 氏 結城 玲美 氏

12	12月9日(木)	みんなで よーいドン	みんなでミニ運動会をしました。	伊藤 友香 氏 結城 玲美 氏
----	----------	---------------	-----------------	--------------------

講座を終えて

絵本と体操というテーマの違うものの組み合わせ。子どもの性格により、興味の違いがみられるが、情操教育と、からだの発達を考えた講座。日曜日の家族参加の日は、父親、祖父母、参加児童の兄弟などで多くの参加となり、青空の下だと遊びの幅も広がり、皆とても伸び伸びしていた。

この講座を一つの契機として、2歳児という幼児期を、親としてどう子育てするべきか、楽しさや悩みも話しあいながら、同じ子どもを持つ保護者や子どもたち同士の交流を通じて、今後の家庭教育に生かして欲しいと思う。

### お母さんと遊ぼう - 親子ふれあい体操と友達づくり

開設趣旨 幼児の心身の健全な発育を促す。

対象・人数 幼児と保護者 20組

期間・回数

学習目的 親子のふれあいと友達づくり

プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	7月29日(木) 10:00~11:30	親子のふれあい 体操と友達づく り	親子で体操をしながら、親子、友達との交流を図った。	佐藤由利子 氏 外1名	11組30人

講座を終えて

親子で体操を楽しみながら、少子化の中で希薄になりがちな同年齢の幼児とその保護者同士の交流を深める機会となった。また、工作は「アンパンマンのうちわ」を作り親子で楽しみました。

### 家庭教育共通事業「食の大切さ」

開設趣旨 成長期の小学生を持つ保護者を対象に「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学ぶ。

対象・人数 小学生を持つ保護者 20人

期間・回数

学習目的正しい「食」の知識について学ぶ。

プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	3月7日(月) 10:00~11:30	成長期の食生活について考える	「食」について考え、正しい食の知識と正しく食することを学んだ。	栄養士 六崎 美知代 氏	6人

講座を終えて

朝食をはじめとした成長期における子どもの食生活の大切さを知ると同時に、食事を栄養面、健康面だけでとらえずに、調理や食事の時間の親子の作業や会話を通じて親子のコミュニケーションを深める機会として学ぶことができた。

## 2 . 青少年教育事業

### 親子交流

開設趣旨 調理体験を通して、親子の交流を図る。

対象・人数 小学生と保護者 1回目 8組(16人) 2回目 20組(40人)

学習目的 食について正しい知識を養う。

#### プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	8月19日(木) 9:30~13:00	親子クッキング	佐倉で採れた夏野菜を使った料理作りを実施した	高屋敷 瑞穂 氏	13人
2	1月8日(土) 9:30~15:30	親子クッキング	親子でそば打ち体験を実施した	根郷そば道場 (公民館利用サークル)	20人

#### 講座を終えて

佐倉で採れた夏野菜を使って、キーマカレーやかぼちゃサラダなどを作りました。ゴーヤジュースなどを加えた、栄養バランスの良いメニューは保護者にも好評でした。家庭においても食事作りを通して親子のコミュニケーションが深められればと思います。

そば打ちについては、昨年に引き続き、公民館利用団体の「根郷そば道場」の方々が指導があたってくださいました。参加者からは、「そば打ちを通して、子どもたちが職人の技に触れる良い機会にもなった」との感想もあった。機会をとらえて郷土料理なども取り入れていきたいと思っています。

### 子ども映画鑑賞会

開設趣旨 名作映画会として実施し、映画をとおして友達の輪を広げ、青少年の健全育成を実現する。

対象・人数 幼児~小学生 1回 50人

期間・回数

学習目的 名作鑑賞を通じて児童の交流と健全育成を図る。

#### プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	参加人数
1	7月30日(金) 10:00~正午	子ども映画会	子供向け名画鑑賞を実施した。 ・ガリバー旅行記	78人

#### 講座を終えて

地域の子供たちを対象に夏休みを利用して映画鑑賞会を1回実施しました。

春休みについては、震災の影響で急遽中止となりました。

名作映画を通して、子供たちに友情の大切さや思いやりの心を育ててもらえたらと思います。

### おもしろ科学実験隊

開設趣旨 子どもたちが五感のすべてを使って、遊びながら科学の楽しさ、不思議さに触れる。

対象・人数 小学4~6年生 16人

期間・回数 平成22年6月5日から12月4日までの全6回

学習目的 実験を通して、新しい発見をする。

#### プログラム

回	月日(曜日)	指導者	学 習 内 容	会 場	参加人数
1	6月5日(土)	村上中学校教諭 西澤 保雄 先生	淡色反応の実験をした 錯覚の実験をした	調理室	14人
2	7月3日(土)	千葉高等学校教諭 川上 義孝 先生	浮力の実験をした	調理室	15人
3	8月7日(土)	元臼井南中学校 校長 土井 仁先生	温度の変化の実験をした 液体窒素について調べた	調理室	11人
4	9月4日(土)	千葉高等学校教諭 川上 義孝 先生	ホタルの光について調べた 水溶液を作った	調理室	13人
5	11月6日(土)	千葉工業大学教授 中田 昌宏先生	「鉄は燃える」事を学んだ	学習室1	13人
6	12月4日(土)	筑波大学准教授 小林 正美 先生	静電気の実験をした ストロークーツを作った 電子レンジを使った実験をした	学習室1 プレイルーム 調理室	14人

講座を終えて

今年11年目となる「おもしろ科学実験隊」。小学校高学年ともなればサッカーなどのスポーツ活動や習い事などで忙しくなる年齢ですが、16名の科学大好きな児童がこの6回シリーズに集まってくれた。

どの講師も子どもたちの期待にこたえる不思議で楽しい実験を用意してくださり、時間延長も度々あり、大変充実した講座となった。

## 子ども水彩画教室

開設趣旨 絵を描くことにより、やる気や自主性を育てる。

対象・人数 小学生 20人

学習目的 絵を描く楽しさに触れる。

プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学 習 内 容	指導者	参加人数
1	8月2日(月) 10:00~12:00	水彩画教室	絵を描く時の基本編 光が当たる所と影の所を観察した。	ワールサークル (公民館利用サークル)	14人
2	8月6日(金) 10:00~12:00	水彩画教室	光が当たる所と当たらない所を意識して着色をした。	ワールサークル (公民館利用サークル)	13人

講座を終えて

子どもたちの、やる気や自主性を育てようと企画した講座です。絵を描くことにより、物には、光が当たり明るく見える部分と、光が当たらず、暗く見える部分があることを観察し、どうしたらその表現を画き表しことができるかを学びました。今回は根郷公民館で活動をしている団体(ワールサー

クル)のご協力をしていただきました。

この講座が、少しでも子ども達のやる気や自主性を育てるのに役立てればと思います。また、佐倉の文化にも興味を持って頂けたらと願うところです。

## 2 - 1 佐倉っ子塾

### 共通講座 「環境講座」

#### 印旛沼と水辺観察

開設趣旨 子供たちに地域をよく理解してもらうとともに地域の環境も理解し、故郷を大切に思う心を育てる。

対象・人数 小学生 各20人

学習目的 印旛沼や鹿島川の水などを使って環境意識を育む講座とする。

#### プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	7月27日(金) 10:00~16:30	水辺観察会	印旛沼に注ぐ水の流れや、生き物について学んだ。	(財)千葉県環境財団	9人
2	10月2日(土) 13:00~15:00	印旛沼の水を調べてみよう	印旛沼の水を浄化する実験を行った。	教諭 西澤保雄氏	10人

#### 講座を終えて

郷土の印旛沼や環境をよく理解してもらおうと企画・実施した講座。

佐倉市の自然財産の象徴ともいえる印旛沼を取り上げ、子供たちにこの財産を残すとともに、さらには子供たちにこの自然の財産の保存を託していく願いを込めて実施しています。今回は、印旛沼の水源域に生息する水生生物について、現地で観察したり、内水面水産研究所を見学して印旛沼に生息する水生生物を観察しました。また、各流域の水質を比較するなど、印旛沼の抱えている問題点などについても理解してもらえたと思う。。

### 共通講座 「創造力養成講座」

#### 夏休み会社見学

開設趣旨 地域の産業や文化などについての体験学習をし、子どもの創造力や研究心を育む。

対象・人数 小学生と保護者 20組

期間・回数 1回

学習目的 太陽電池パネルがどのようにつくられ、利用されているかを見学し、くらしと環境について考える。

#### プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	7月27日(火) 13:30~15:00	太陽電池パネル	太陽光が私たちの暮らしにどのように役立っているかについて学んだ。	株式会社京セラ	18人

講座を終えて

当日は晴天で太陽電池パネルの実験をするには絶好の日であり、太陽電池で動くおもちゃの車や風車の実験など、子どもたちの視覚に訴える講座となり、同伴の保護者やきょうだいも楽しむことができた。また、地元企業が社会に役立つ製品を製造していることを知り、働くことの意義についても実感できたことと思います。

## 3 . 成人教育事業

### 健康づくり講座

開設趣旨 散歩感覚のウォーキングやストレッチを行い、健康の保持増進を図る。また、草木や鳥など自然に触れ、家庭では感じることでできない感動を味わい、参加者同士の親睦も図る。

対象・人数 成人 各20人

学習目的 運動を通して健康の保持・増進について学ぶ。

開催期間 3回

プログラム

回数	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	10月5日(火)	散歩ウォーキング	散歩感覚のウォーキングやストレッチを行い、良い歩き方を学んだ。 「良い姿勢」と3kmウォーキング	NPO法人ニッポンランナーズ 北晃氏	16人
2	10月12日(火)	〃	〃 「肩甲骨」と3kmウォーキング	〃	17人
3	10月19日(火)	〃	〃 「骨盤」と3kmウォーキング	〃	16人

講座を終えて

NPO法人ニッポンランナーズ北晃氏を講師に迎え、日常生活の中で手軽におこなえる良い歩き方やストレッチを学びました。講義のあとは、散歩ウォーキングと題し、実際に公民館周辺を「良い歩き方」で歩きました。参加者からは「健康のため今後も運動を続けていきたい」など、健康に関する関心の強さを感じました。また、「ウォーキングのサークルを作り活動したい」という積極的な意見もありました。今後もニーズに合わせた講座を開催したいと思います。

### 人権講座

開設趣旨 聴覚障がい者の人権について考える。

対象・人数 成人 20名

学習目的 聴覚障がいと聴覚障がい者の人権について簡単な手話を通じて学ぶ。

プログラム

回数	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	1月20日(木) 10:00~11:30	聴覚障がい者の人権について学ぶ。	手話を通じて、聴覚障がい者の人権について学んだ。	佐倉市ろう者協会 会長 佐藤 近延 氏	20人

講座を終えて



聴覚障がい者について学ぶだけでなく、手話を使って参加者が簡単な挨拶や自己紹介をするなど、参加者からは「聴こえないということがどういうことかわかった。」「手話を継続して学びたい」など積極的な意見が出され、活気のある講座となった。

### 体験・ものづくり講座

開設趣旨 根郷地区の人材を活用し、地元の食材を使用してのものづくりを通じて市民の交流との交流と地域への関心を高める。

対象・人数 成人 各20名

学習目的 地域の人材を活用し、自ら学び、地域づくりにつなげる。

#### プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	5月23日(日) 9:30~13:00	石鹸作りに挑戦!	香料がないナチュラルな石鹸作りを学んだ。	千葉高校教諭 川上義孝氏	15人
2	12月10日(金) 9:30~13:00	こんにゃく作りに挑戦!	地元産のこんにゃく芋を使って地域の方の指導によりこんにゃく作りに挑戦した。	地域指導者	20人

#### 講座を終えて

こんにゃく作りは、佐倉・城下町400年事業と位置付け、地域指導者の協力により、地元で取れたこんにゃく芋を使用して行った。この講座も今年度で5回目となり、定着してきた。

### パソコン講座

開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

対象・人数 成人 各回13人

開催期間 年4講座 全8回

学習目的

#### プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	6月11日(金)	初歩のパソコン ~インターネット活用編~	「パソコンとは...」から各機能の説明・文字入力やインターネットの基礎について学んだ。	坂井 稔氏 外4人	13人
2	6月12日(土)	初歩のパソコン ~インターネット活用編~	「パソコンとは...」から各機能の説明・文字入力やインターネットの基礎について学んだ。	安富 照時氏 外4人	14人
3	9月10日(金)	ワードで地図入り案内状を作ろう	地図入り案内状の作り方を学んだ	大木 敏男氏 外4人	13人
4	9月11日(土)	ワードで地図入り案内状を作ろう	地図入り案内状の作り方を学んだ	坂野 光弘氏 外3人	8人
5	11月26日(金)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	坂野 光弘氏 外3人	11人

6	11月27日(土)	ワードで年賀状を作ろう	年賀状の作成方法について学んだ。	橋本 雅之 氏 外4人	13人
7	3月11日(金)	ワードで表入り案内状を作ろう	表入り案内状の作成方法について学んだ。	森 克子 氏 外5人	10人
8	3月12日(土)	はじめてのパソコン	キーボード入力やマウスの使い方について学ぶ。	沼倉 誠 氏 外4人	中止

講座を終えて

定員を超える申込みがあり、抽選を行うほどでした。

どの受講生も熱心に取り組んでいて、活気のある講座となった。

ここで学ぶことは、基礎的なことなので、これから各自学習していてもらいたい。

なお、3月12日(土)は東北大震災の翌日のため中止となった。

## パソコン自由利用

開設趣旨 地域住民の情報活用能力の育成を行う。

対象・人数 成人 各回20人

期間・回数 毎月最終日曜日 午前10時～正午/午後1時～午後3時

プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
12	毎月最終日曜日	情報活用能力の育成を行う	各自で教材を持ち込み、各で学習した。わからない所をボランティアに質問をした。	パソコンボランティア各回3人	延べ78人

講座を終えて

パソコン講座で理解できなかった点や日常的な操作でわからないところを補うことができた。

また、各自の都合のよい時間帯の参加が可能であるため、パソコン講座と併せて参加することにより、パソコン操作のレベルアップの一助となることができたと思います。

## 地域づくり入門講座

開設趣旨 消防署の協力を仰ぎ、地域住民の防災意識の向上を図る。

対象・人数 成人20人

学習目的

プログラム

回	月日(曜日)	テーマ	学習内容	指導者	参加人数
1	3月13日(日) 9:00～10:30	普通救命講習	万一の災害や事故等の際に役立つ応急手当の技法を学ぶ。	佐倉消防署 職員	中止

講座を終えて

東北大震災の影響により急遽中止となった。

# 3 - 1 佐倉学講座

## 佐倉学入門編

### 郷土史講座

開設趣旨 近代の佐倉を中心として学び、根郷地区をよく知ってもらおうと企画実施しています。

対象・人数 成人 各50人

期間・回数 2回

学習目的 佐倉の歴史に興味を持って頂き、これから地域の歴史を学ぼうとしている人の手助けとなることを目的としています。

#### プログラム

回	月日(曜日)	テマ	学習内容	指導者	参加人数
1	5月22日(土) 10:00~12:00	近代の佐倉 根郷の発展と教育 や歴史に尽くした 人々	近代の佐倉・特に根郷地区に おける歴史と、根郷地区にか かわる人物について学んだ。	千葉県郷土史研究 協議会 会長 樋口 誠太郎 氏	22人
2	7月25日(日) 10:00~12:00	近代の佐倉 根郷村誕生前後の 自由民権・農民運 動・行政	根郷地区でおきた運動や行 政のかかわりについて学ん だ。	中村 正弘 氏	21人

#### 講座を終えて

佐倉市の歴史入門講座として地域の歴史に興味を持って頂けるよう講座を実施しています。今年度の内容としては、明治・大正・昭和と近代の佐倉(根郷地区)をテーマとして、戦後に根郷地区が発展していく様子や教育の現状、明治末期の模範村づくりや自由民権運動について学びました。

参加者からは、根郷地区についてもっと知りたい、近隣の和田地区や弥富地区とのかかわりについて学びたいとの声もありました。

この講座は入門編として実施しているので、地域の歴史に興味を持って頂くことを目的とし、地域発展の歴史をわかりやすく講義してもらうよう努めています。郷土史は学ぶ内容が豊富で参加希望者も多く、講座生は熱心に話を聞いています。歴史講座は、毎年中高年を中心に根強い人気があり、郷土の学習講座として今後も継続的に実施していく必要があると思います。

### 根郷探訪

開設趣旨 郷土の歴史・文化・自然をテーマに学び散策を交えて、郷土史を理解する。

対象・人数 成人 各20人

期間・回数 3回

学習目的 郷土の歴史・文化・自然をテーマに散策を行い、歴史の街佐倉について理解を深め、郷土愛の育成を図る。

#### プログラム

回	月日(曜日)	テマ	学習内容	指導者	参加人数
---	--------	----	------	-----	------

1	4月24日(土) 9:30～12:00	太田周辺	佐倉市の自然を散策しながら早春の野草を観察し、自然に親しむことにより、郷土の自然について関心を促した。	千葉県自然観察指導員 近藤維久子 氏	17人
2	6月12日(土) 9:30～12:00	小篠塚城址	小篠塚城址周辺を散策し、その時代の歴史について学んだ。	佐倉城址公園 ボランティア	11人
3	11月13日(土) 9:30～12:00	国立 歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館の館内を見学した。	佐倉城址公園 ボランティア	10人

#### 講座を終えて

根郷地区周辺の自然や歴史を中心に紹介し、地域の自然・歴史に興味を持っていただけるよう実施しています。

第1回目は、太田周辺を散策し、春の山野草や里山を観察しました。

第2回目は、小篠塚城址周辺を散策し、その時代の歴史に触れました。

第3回目は、国立歴史民俗博物館の館内を見学しました。

参加者からは、地域の歴史や地理が良くわからないこと、野草や野鳥など身近に自然と親しめる機会がほしいとのことから、今後も、講座を続けて頂きたいなどの言葉を頂き、公民館では郷土史を学ぶことで地域を理解していただけるよう、講座を継続していきたいと思っています。

## 4 . 高齡者教育事業

### 寿 大 学

開設趣旨 現在、激しい社会変動の中で高齢化社会を向かえている。このような社会情勢の中で高齢者が充実した生活を過ごす為には、健康保持・生活文化・地域問題などについて情報収集し、学習する必要がある。寿大学は、こうした学習や情報取得・意見交換の場としての提供を、目指しています。

対象・人数 60歳以上の市民 120人

期間・回数 平成22年5月21日から平成23年3月18日まで 10回

学習目的 高齢者が生きがいを持って充実した生活を過ごせるよう、健康保持、生活文化、地域問題などについて学ぶとともに、互いの交流をはかる。

### プログラム

回	月日(曜)	学習テーマ	学習内容	指導者
1	5.21(金) 9:30-12:00	開講式 オリエンテーション	1年間の予定説明等	館長他
		班編成	班の確認と、 運営委員の選出等	
		佐倉を知る	ビデオ映画鑑賞	「城下町佐倉」
2	6.18(金) 10:00-12:00	食事と健康	60歳からの食事 手軽にできる運動	栄養士 六崎美知代 氏
3	7.16(金) 10:00-12:00	音楽コンサート	アコーディオンの魅力 と歌遊び	佐倉アコーディオンサークル「風車」
4	9.17(金) 8:00-17:00	社会見学 (自由参加)	NHKスタジオパーク 日本科学未来館	
5	10.15(金) 10:00-12:00	佐倉の歴史	佐倉・城下町400年	文化課 課長 内田 儀久
6	11.19(金) 10:00-12:00	趣 味	鳥の習性パート	日本野鳥の会 浅野 俊雄 氏
7	12.17(金) 10:00-12:00	名画鑑賞	名作映画	「東京物語」
8	1.21(金) 10:00-12:00	環境問題	「ストップ地球温暖化」他 グループ討議	ビデオ 班別討議
9	2.18(金) 10:00-12:00	健康について	介護予防講座	高齢者福祉課 岩本 絵己
10	3.18(金) 9:30-12:00	時事問題	講義と閉講式	班別討議 「災害時の対応」 修了証書授与式

## 講座を終えて

寿大学は、根郷地区以外の参加者も受け入れ、高齢者の交流の場としての役割を中心とし、10回の講座を実施している。また生涯学習の観点から卒業をなくしいつまでも学ぶ姿勢を重視している点も寿大学の特徴である。

プログラムの編成や企画なども、受講生の意見を参考にし、受講者の代表からなる寿大学運営委員会の意見を聞き、決めていくのも特徴の一つである。

この様に自主運営方法を取り入れ13年が経過し、結果が徐々に実ってきているように見える。授業の欠席者も少なくなってきたように感じるとともに、カリキュラムも健康と歴史、文化を中心に組み立てられるようになってきた。

今後も、高齢者の交流の場を保持しながら、健康を意識した寿大学の実施にさらに努めていきたい。また忘れてはいけません。

『寿だより』の発行も受講生自らが編集委員会を結成し、取材・編集をこなしパソコンを活用して発行しており、公民館としてもその活動維持に努めていきたい。

## 5. 団体育成事業

### 根郷地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化しています。こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成されました。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

根郷地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としています。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っています。

### 根郷公民館パソコンボランティア会議

根郷公民館主催のパソコン講座及びパソコン自由利用の講師として協力いただいている市民ボランティアが、年3回ボランティア会議を開催し、根郷公民館主催のパソコン講座、パソコン自由利用の日程と内容について検討している。

## 6. 広報・展示事業

### 公民館だより

ねらい・・・公民館の事業、利用団体の活動、地区の情報などを案内するために公民館だよりを発行した。

発行回数・・・年2回(4月15日・9月15日)

発行部数・・・各回10,900部

配布方法・・・各公民館・図書館の窓口及び根郷地区各世帯・各事業所に新聞折込みにより配布

## 7. 図書事業

趣 旨 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、根郷地区関連資料や佐倉市関連資料を収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。

蔵書数 約3千冊

月別貸出数・返却数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	84	66	106	76	104	76	79	89	99	84	92	106	1,061

返却数	411	317	422	367	336	390	3,355	302	367	336	333	361	7,297
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-------